バス停留所 (1956)

BUS STOP

メディア 映画

ジャンル ロマン스

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 95分

初公開日 1956/11/22

公開情報 FOX

【解説】

モンローが「帰らざる河」で演じた踊り子にも少し似た流れの歌手に扮し、遺作の「荒馬と女」に並ぶ力演を見せた、W・インジ戯曲の映画化。喜劇的すぎる作りに若干の無理があるが、モンローならではの見る者を優しく包み込む瞬間が多々ある。彼女にベタ惚れするモンタナ出身のカウボーイ、ボウに映画初主演のD・マレーが扮し、朴訥とした男を好演。雪降る停留所にモンタナ行きのバスから降り立つシェリーは、ボウに半ば略奪された形についてきたのだが、彼には相応しくないと一人決め、LAに向かうバスに乗ろうとするところを、なんと投げ縄で捕まえられてしまう……。出発の待ち時間のあいだに繰り広げられる純情二重奏といった所で、演技派を目指したモンローのアクターズ・スタジオでの訓練の成果が問われたが、そんなことに関係なく彼女は天性の女優だと感じさせた。監督ローガンにとっては「ピクニック」に次ぐ、インジ作品の映画演出である。

【クレジット】

監督	ジョシュア・ローガン	Joshua Logan	
製作	バディ・アドラー	Buddy Adler	
原作	ウィリアム・インジ	William Inge	
脚本	ジョージ・アクセルロッド	George Axelrod	
撮影	ミルトン・クラスナー	Milton Krasner	
編集	ウィリアム・レイノルズ	William Reynolds	
音楽	アルフレッド・ニューマン	Alfred Newman	
	シрил・J・モックリッジ	Cyril J. Mockridge	
出演	マリリン・モンロー	Marilyn Monroe	チェリー
	ドン・マレー	Don Murray	ボー・デッカー
	アーサー・オCONNELL	Arthur O'Connell	ヴァージル・ブレッシング
	ベティ・フィールド	Betty Field	グレイス
	アイリーン・ヘッカー	Eileen Heckart	ヴェラ
	ホープ・ラング	Hope Lange	エルマ・ダックワース
	ロバート・ブレイ	Robert Bray	カール
	ハンス・コンリード	Hans Conried	ライフ誌カメラマン
	ケイシー・アダムス	Casey Adams	ライフ誌レポーター